

富津市小・中学校再配置計画
【湊小・天神山小・竹岡小・金谷小】
「今後の取り組み」



平成30年 3 月 29 日

富津市教育委員会

目 次

1 学校再配置にあたっての課題と対策

(1) 学校に関すること

- ①校名・校章・校歌について
- ②交流授業・合同行事等の計画的な実施について
- ③行事の精選・充実について
- ④特色ある教育活動について
- ⑤学校指定品について
- ⑥教職員の任命について
- ⑦スクールカウンセラーの活用について
- ⑧通学について
- ⑨通学路の安全管理について
- ⑩災害時の安全管理について
- ⑪特別支援学級在籍児童について
- ⑫PTA・後援会の組織等の整備について
- ⑬各学校備品・教具・図書等の活用について
- ⑭移転について

(2) 天神山小学校・竹岡小学校・金谷小学校の跡地利用について

- ①活用法について
- ②跡地の管理について

2 学校再配置個別計画検討のための組織及び協議事項

(1) 個別計画検討協議会

- A 代表部会
- B PTA等部会
- C 学校教職員部会

(2) 協議分担一覧表（別表）

3 閉校式・開校式について

4 今後の主なスケジュールについて（別表）

1 学校再配置にあたっての課題と対策

(1) 学校に関すること

① 校名・校章・校歌について

- ・校名－「富津市立天羽小学校」を校名の候補としていきます。
- ・校章・校歌は、学校にとっての顔であり、シンボルとなるものです。学校、PTA役員、代表区長らからなる個別計画検討協議会代表部会において、協議の上候補を絞り、教育委員会で最終決定を行っていきます。

② 交流授業・合同行事等の計画的な実施について

- ・平成30年度より交流授業、行事の合同開催などを実施していくことで、互いの考え方、人柄等を理解し合ったり、大きな人数で活動することの楽しさに触れさせるとともに、授業形態等のスムーズな移行を図り、子どもたちの不安の軽減に努めていきます。

③ 行事の精選・充実について

- ・卒業式、入学式を始め、修学旅行、宿泊学習、運動会など、小学校には様々な行事が存在し、そのどれもが小学生にとってとても大切な学びの場となっています。目的や目標をはじめ、行事の種類、実施の方法や内容、予算等について検討し、4校のよいところを取り入れ、4校の新しい伝統となるような行事づくりに努力していきます。
- ・特に修学旅行、宿泊学習については、今後の検討協議会学校教職員部会で概要や積立金について協議していきます。

④ 特色ある教育活動について

- ・地域とのつながりや喫緊の教育的課題などに対応するために、学校では、それぞれに独自の取り組みがもたれています。行事と同様、地域の要請や緊急性なども加味して検討を進め、内容の精選や充実を図っていきます。
- ・学校、学区が変更されても、地域のみなさんから様々な教えをいただいたり、伝統の継承をいただく大切さは変わりません。地域の行事への参加や協力については、前向きに取り組めるよう学校にもお願いしていきます。

⑤ 学校指定品について

- ・平成31年度入学生より共通したものが使用できるように、配慮していきます。

⑥ 教職員の任命について

- ・再配置後の生徒理解がスムーズに進むように、前任校の教職員の配置に配慮していきます。

⑦ スクールカウンセラーの活用について

- ・主に中学校に派遣されているスクールカウンセラーを活用し、児童の不安や悩みの解消に向け、活用を図っていきます。

⑧ 通学について

- ・新しい学区の制定に合わせ、通学手段を徒歩またはスクールバスに改め、再度居住地による指定を行います。
- ・スクールバス通学者については、児童の居住地を元に、年度ごとに乗降場所の選定を行っていきます。
- ・具合が悪くなった時などには、保護者と連絡を取り合った上、必要な措置を講じていきます。
- ・安全管理マニュアルをバス運行委託会社と共同で作成するとともに、マニュアル実施の管理・査察を実施します。
- ・遅刻、及びスクールバスの乗り遅れについては、基本的に公共交通機関を利用するなど、自己責任でお願いします。

⑨ 通学路の安全管理について

- ・スクールバスの運行経路を含め、新しい通学路について、改めて点検を行うとともに、児童の安全を第一に危険箇所の改善のための努力をしていきます。

⑩ 災害時の安全管理について

- ・学区が特に広域となるため、災害時の対応（スクールバス乗車中も含む）、引き渡し等については、マニュアル、引き渡し名簿等の作成のほか、様々な想定における訓練を十分に行います。

⑪ 特別支援学級在籍児童について

- ・教職員が児童をよく理解して、一人一人の個性を大切にしながら合理的配慮に基づいた教育活動を行っていきます。

⑫ P T A、後援会の組織等の整備について

- ・平成31年度 P T A 役員の方々を中心に、新たな組織、役員、規約、予算等について協議していただき、現在と同様、子どもたちの健全育成へのバックアップの中心となる組織としてご協力いただけるよう要請していきます。

⑬ 各学校備品・教具・図書等の活用について

- ・再配置後の新しい学校での活用を優先し、有効活用を図ります。

⑭ 移転について

- ・平成32年3月に実施します。

(2) 天神山小学校・竹岡小学校・金谷小学校の跡地利用について

① 活用法について

- ・各地域の振興に係る有効利用に向け、地域の声に耳を傾けながら有効利用の方法について検討を進めます。

② 跡地の管理について

- ・富津市教育委員会で適切な管理に努めます。

2 学校再配置個別計画検討のための組織及び協議事項

(1) 個別計画検討協議会

平成29年7月より、協議内容に応じて、代表部会、PTA等部会、学校教職員部会に分け、それぞれに協議、検討を行ってきました。協議内容によっては、既に決定済みのものもありますので、協議の内容に応じて、再協議の必要性を見極めつつ進めていくこととなります。

A 代表部会

- ① 代表部会の運営は、富津市教育委員会が行います。
- ② 代表部会の会員は、次に掲げる者から組織します。
 - ア 統合の対象となる学校の校長
 - イ 統合の対象となる学校のPTAの代表者3名
 - ウ 統合の対象となる学校の学区の代表区長
- ③ 代表部会は、統合後の学校の名称、校歌、校章等について協議を行います。

-
-
- ④ 再配置後の校名、校章、校歌の決定方法について
- ア 学校の名称について
- ・「富津市立天羽小学校」を校名の候補としていきます。
- イ 校章、校歌について
- ・代表部会で協議し、必要であれば専門家による手直し、あるいは依頼等を経て決定していきます。

B P T A 等部会

- ① 各組織の再配置のための再編成に関する対象出席者の選定及び協議運営の方法等は、湊小学校・天神山小学校・竹岡小学校・金谷小学校4校の各組織に委ねていきます。
- ② P T A について
- ・組織統合編成、役員を選出、規約の設置、予算、集金、事業の計画について等、4校のP T A 役員を中心に協議をお願いしていきます。
- ③ 後援会について
- ・後援会は、現在湊小（名称：賛助会）、天神山小には存在しますが、竹岡小、金谷小には存在していません。今後について、後援会役員、P T A，学校の四者での協議をお願いしていきます。
 - ・組織統合編成、役員を選出、規約の設置、予算、集金、事業の計画について
 - ・その他、必要となる事項について

C 学校教職員部会

- ① 湊小・天神山小・竹岡小・金谷小学校の再配置のための出席者の選定及び協議運営の方法等は、湊小・天神山小・竹岡小・金谷小学校4校に委ねていきます。
- ② 学校教職員部会に協議をお願いしていくもの
- ア 統合後の学校運営及び教育計画に関すること。
- イ 統合前の交流活動に関すること。
- ウ 統合後の学校指定品、校則等に関すること。
- エ 統合後の通学体制に関すること。
- オ 統合の際の移転準備に関すること。
- カ 統合の対象となる学校の歴史及び伝統の保存に関すること。
- キ 前各号に掲げるもののほか、統合に関し、必要な事項に関すること。
-
-

(2) 協議分担一覧表 (別表)

3 閉校式・開校式について

富津市および富津市教育委員会が運営・実施します。

4 今後の主なスケジュールについて(別表)